

三番瀬自然環境調査について

平成 19 年 9 月 25 日

千葉県環境生活部自然保護課

1 平成 18 年度調査の評価について

調査の概要は、報告書（概要版）、参考資料（平成 19 年 8 月 3 日の「評価委員会資料」）のとおり。この調査結果について、評価を行う。

・評価のポイント

底質調査において、市川航路周辺の浅海域や塩浜護岸前面付近で、補足調査や平成 14 年度調査に比べて平成 18 年度調査では、中央粒径が小さくなり、シルト粘土分が高い値を示すなど変動が見られたこと。底生生物調査において、平均個体数が、平成 14 年度調査や平成 18 年度調査の値が補足調査にくらべて小さくなっていること。

底生生物調査の湿重量においては、平成 18 年度調査の値が、補足調査や平成 14 年度調査の値に比べて、特に春季・夏季における数値が小さくなっていること。

群集組成の類似度による海域区分（類似度 0 . 3 区分）では、猫実川河口周辺において、平成 14 年度調査において主要種であったウミゴマツボやニホンドロソコエビに変わり、平成 18 年度調査では、コケゴカイ、ミズヒキゴカイ、イトゴカイ科が高い構成比を示したこと。その他各委員においてポイントであると考えること。

2 平成 20 年度以降の調査の進め方

平成 20 年度以降の調査についても、再生会議からの意見書（平成 18 年 12 月 25 日付の「三番瀬自然環境調査のあり方」及び「市川市塩浜護岸改修事業に係るモニタリング手法」について）に基づき実施する。

（1）年次計画（案）

別添資料 2 のとおり実施する。

（2）総合解析

平成 18 年度から 21 年度の調査について、評価委員会（小委員会）において、三番瀬の自然環境の把握のために解析が必要と判断された項目について解析を行う。

3 その他

年次報告書として、本報告書の概要版をホームページで公開する。

データは、自然環境データベースを活用できる旨も併せて広報する。